

## 第7回 長浜市学校園の適正規模・適正配置検討委員会 要点録

日 時 令和6年11月20日(水)13時57分～15時58分  
場 所 長浜市役所多目的ルーム 1～3  
出席者 (委員) 水本座長、大橋副座長、西川委員、西田委員、塚田委員、  
中川委員、福永委員、辰野委員、文室委員  
(事務局) 内藤部長、山岡次長、高山次長、為永管理監、稲葉課長代理、  
成田室長、廣部副参事、藤田指導員  
欠席者 森委員、水谷委員、喜田委員

### 1. 開会(13時57分)

#### <内藤教育部長あいさつ>

未来を担う子どもの環境を整えるべく これまでの議論や視察を踏まえ、ワークショップで意見を深めたい。次への重要なステップになる大事な会。よろしくお願いいたします。

#### <委員会の成立報告、公開等>

### 2. 議題(14時00分)

#### (1)長浜市民意識調査について

資料1) 令和4～6年度長浜市民意識調査(抜粋)

第4回(8/26)会議の指摘事項の修正

#### <質疑応答>

・他項目と比べると、相談できる環境も全体的に高いので考えていく必要がある。

#### (2)学校園を取り巻くデータ等から見える姿について

資料2) 視察を終えての委員アンケート

資料3) 地域づくり協議会ヒアリング結果

資料4) ワールドカフェ振り返り

#### <質疑応答>

・地域づくり協議会について、温度差はどうか。担い手はどのような感じか

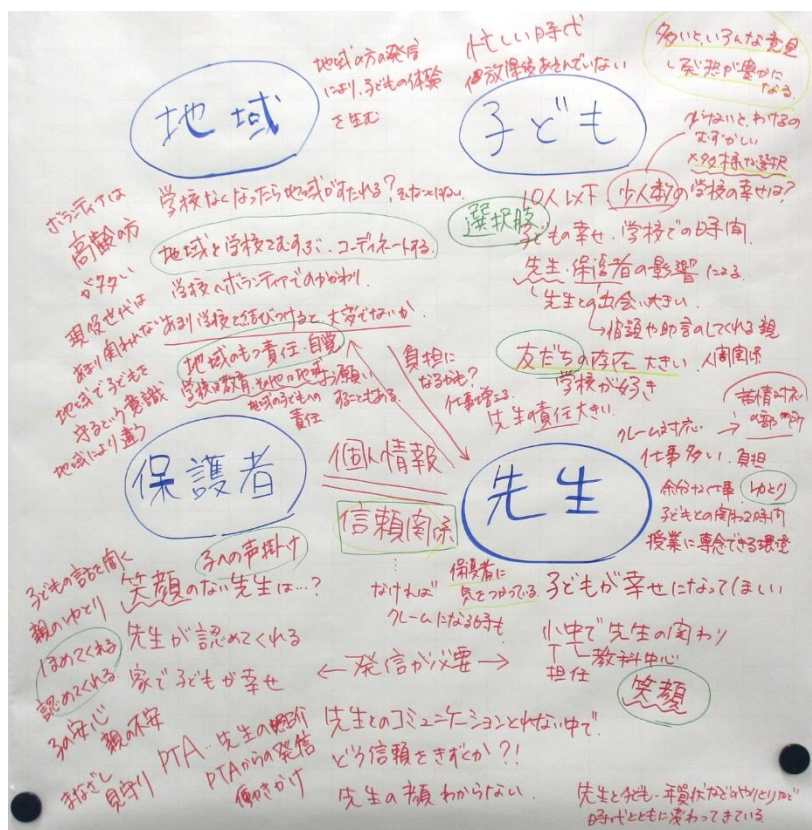
→力を入れている地域、そうではない地域がある。今回は子どものことについて地域に応じた活動している。担い手の年齢層は高い。

#### (3)ワークショップ「子どもが幸せになる学校園とは」

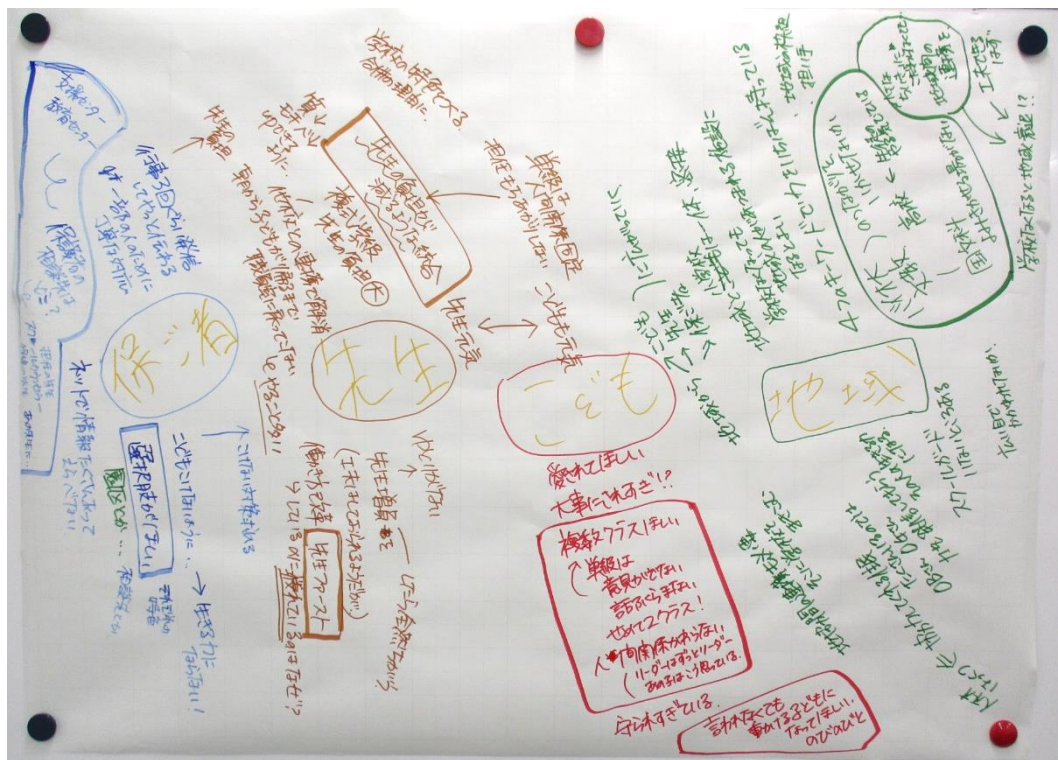
<事務局口頭にて説明>(14時18分)

- 学校、規模、先生、子ども、親、地域、学区、園、みんな、制度

・A グループ



・B グループ



#### (4)意見交換(15 時 30 分)

- ・4つのキーワード連携している。どれが欠けてもダメ。土台は地域。地域に熱量が残っていく。
- ・学校に招いた講師が、地域ごとのよさについて話された。同じようなことをしているが、それぞれの良さを残しておくことが大事。
- ・いろいろ勉強になった。どのキーワードも信頼関係からできていく。大切なこと。
- ・選択肢がほしい。将来的にそれぞれの学校がもっと特徴、ここに行ったらこんなことができる、力がつくということを創っていけるとよい。将来的にしたいことで学校を選べるとよい。
- ・子どもが幸せになるためには、どれも切り離せないもの。子どもは家や保護者がベース。保護者が楽しさ等子どもと共有できれば、子どもにも楽しさや幸せが伝わる。保護者は地域ともつながっているの、基盤として大事。学校に行ったらこんなことができる。子どもと保護者が一緒に選べるのも、子どもに自分で選べる力をつけようという時代の中で、そのようなことがちりばめられているとよい。  
地域の寂しさは、学校の特色につなげて活性化につなげてもらえれば。
- ・先生が笑って楽しくしてもらうのが一番。保護者も子どもにも楽しく通ってもらえる。公立小学校でも選択できるところがある。保護者も自分で選んだ学校ということで納得もできる。園区があるので、短児部や幼稚園は選べない。駐車場がない園もある。選択肢としていろいろあることはよいこと。
- ・現実に難しいのだらうなという印象。子どもは10人以下ではなく、2クラス以上が

幸せだと個人的には思っている。統合は行き詰まってからでないと進まない。全く違うところに学校を建てる。先生に全部負担がかかっているので、ひとつひとつ剥がしていく必要がある。

- ・地域づくり協議会に関わっている。小学校の統廃合も経験している。地域と学校は一体。地域は学校を中心に活動が行われてきた。思い入れは強い。なくなっても学校への思いや地域のつながりがある。狭い地域ではなく、小学校区としての地域も理解しながら、子ども達が生活できるとよい。中学校に行った時に共通の認識がある。コミュニケーションも取りやすくなる。同じ中学校に行くことを前提にしながら、成長していくのが小学校の在り方ではないか。先生はゆとりがない。負担が大きい。保護者対応が大変。ちょっとしたことで学校にクレームが来ることが日常茶飯事。負担をできるだけ軽減する必要がある。先生が元気で笑顔がなければ、子どもも暗くなってしまう。  
そこに焦点をあてないと難しいと思うし、カギだと思う。

#### (5)総括(15 時 48 分)

- ・これを実現するキーパーソンは誰か。先生のことは教育委員会。それだけでいけるのか。誰かが動かなくてはならない。地域のキーパーソンは誰なのか。保護者のキーパーソンは？不安が解消できればひとつの突破口になる。
- ・学校と地域は一体といいながら、選択することは地域と切り離すことになる。
- ・学校と地域は別のもの。学校は教育するところ、地域で子どもを育てる。地域で考えなさいは難しい。
- ・教育委員会としても、どう受け止めるか大きな課題。教育委員会だけでは済まない話である。信頼関係をつくりましょう。そのためにできることは何か、具体的に考える。規模的には複数クラス。そこでいい教育を受けるには、いろいろなことが絡んでくる。中身の話を同時進行で考えないといけない。  
一方で統合しても複数クラスにならないことも出てくる。その時にどうするかも考えておかなければならない。教育委員会としては悩ましいかもしれないが、検討をお願いしたいと思う。

#### (6)その他(15 時 57 分)

最終回:令和 7 年 2 月 3 日(月)14 時～16 時

### 3. 閉会(15 時 58 分)